

# 日立グループ 議員団だより

ホームページアドレス <http://www.hitachi-gr-giindan.jp/>

## 今号の読みどころ

議員団レポート…(日立市議会、安来市議会、日立市議会、ひたちなか市議会、横浜市会) P 2~4

幹事長の主張…統一地方選挙へ備えましょう

浅野衆議院議員・国政レポート…政治に対する国民の信頼を取り戻すために「基本と正道」の再徹底を！

P 4

## 公共施設や道路などの改善

## 市政だより



坂本 勝司  
 横浜市会  
 (日立労組/ソフト支部)

## 地域の“声”を“かたち”に！

### ◆戸塚駅東口バスターミナルの改善

バス降車レーンからタクシーレーンへ横断歩道が新設され、これまで課題であったデッキへの移動にエレベーターを利用出来る様になりました。この改善は福祉的な視点からも必要性は高く、改善を強く要望してきたものです。次は地下への動線も階段だけです。引続き、誰にも優しい戸塚駅となる様に改善します。

### ◆区役所内エスカレーター新設

平成25年3月に戸塚区役所の新庁舎が完成して以来、行政サービスの2階と駅・商業エリアとを接続する3階への移動手段としてエスカレーターの設置を強く要望し、この度、区局連携事業にて予算化され設置が実現しました。この改善により移動手段の分散が図られエレベーターの待ち時間の改善も期待されます。

### ◆戸塚住宅展示場前の歩道拡張

展示場前の歩道はとて多くの方が行き来する歩道ですが、道幅が狭く、電柱などもあり歩行に支障をきたしていました。改善に向けて取組む中、この度、土地所有者である日立製作所の協力により、歩道拡張の実現につながりました。現在、拡張工事中ですが1日も早く整備完了し、歩行者の安全と安心が守られることを期待します。

引続き、皆様の声をかたちに出来るよう活動して参ります。

坂本勝司の  
公式LINEアカウント



ぜひご登録ください

## 統一地方選挙へ備えよう

私たち日立グループ議員団の会員が、それぞれの地域で、それぞれの支部・単組にお世話になっていることに対し、心から感謝と御礼を申し上げます。また、議員団の会長である、浅野哲につきましても、衆議院議員としての活動を順調に展開しているとのことであり、その支えに対しても重ねて感謝を申し上げます。

これまでに行なわれた会員の地方選挙の結果であります。下松市議会議員選挙の磯部孝義さんが3期目、栃木市議会議員選挙で、私千葉正弘が通算5期目の当選を果たすことが出来ました。改めて感謝と御礼を申し上げます。

### ■会員相互の交流促進を

今回は、日頃活動する中で感じていることを申し上げます。

一つ目は、会員相互の交流の機会を増やしていただきたいということでもあります。各自治体やその議会に

おいて、様々な特色ある取組みを進めています。その内容を直接視察研修する機会を作ってみてはいかがでしょうか。視察以外にも情報交換を行なう中で参考になることは、多いと思います。ぜひ、会員相互の交流促進を図っていただきたいと思っています。

二つ目は、今後会員が減少傾向になっていくことに対し、どのように対処していくかという課題であります。様々な視点からの検討が必要ではないかと感じています。これまで以上に、各組織と日立グループ連合との連携が重要になるのではないかと考えています。

### ■来年の統一地方選挙の準備を万全に

来年は、統一地方選挙も控えています。その準備に万全を期していただきますようお願いを申し上げます。

私たち、日立グループ議員団の会員は、さらなる資質の向上に努力していきますので、皆様方のご支援をよろしくお願い致します。



日立グループ議員団幹事長  
 栃木市議会 (日立A.P.労組/栃木支部)  
 千葉 正弘



日頃からのご支援に  
 感謝いたします！  
 いしおかみ  
 石上 孝夫

胎内市議会  
 議員選挙  
 2018年9月



渡辺 宏行  
 (産機労組中条支部)

栃木市議会  
 議員選挙



千葉 正弘  
 (日立AP労組栃木支部)

当  
 選  
 御  
 礼

下松市議会  
 議員選挙



磯部 孝義  
 (日立労組笠戸支部)



日立グループ議員団会長  
 衆議院議員 浅野 さとし

本会議で発言

日立グループ連合の皆さん、議員団の皆さん、日頃の取組みに対するご理解とご協力に心より御礼申し上げます。当選から半年の間、経済産業委員会や予算委員会での質疑、衆議院本会議での代表質問など多くの機会に恵まれ、充実した活動をさせていただいていることに改めて感謝申し上げます。

### 「働き方改革国会」の状況

今国会では、長時間労働の是正や生産的な働き方にむけて「働き方改革」が大きく取り上げられています。当初この法案は「企画業務型裁量労働制の適用範囲拡大」を含む内容となっていたが、政府が行なった調査の内容に不正があった事からこの部分は法案から除外され、現在は「高度プロフェッショナル制度の創設」が主な争点となっています。

こうした状況の中、野党は連合の組織内議員が主体的に取りまとめた対案を提示しました。この対案の検討には私も加わせていただき、「労働時間の罰則付き上限規制」や「裁量労働制の厳正運用」、「勤務間インターバルの導入」などを柱とする内容となっています。適正な労働ルールを守り、健康的で生産的な働き方の実現につながるため、電機連合組織内議員の石上としお議員や矢田わか子議員と連携しながら全力で取組んでまいります。



働き方改革虚偽データ疑惑  
 野党合同ヒアリング  
 民進党・希望の党  
 合同働き方改革検討  
 のための合同会議

### 「基本と正道」の再徹底を

また、今国会では行政の信頼をゆるがす様々な問題が顕在化しました。厚生労働省による働き方改革データの虚偽や年金処理業務の不正発注、財務省による森友学園への不正関与と決裁文書の改ざん、文部科学省による教育現場への不当介入、防衛省による自衛隊日報の隠ぺい疑惑など枚挙に暇がありません。行政の現場にこのような緊張感のない状況を生み出した政府・与党には猛省を促したいところですが、足並みを揃えることができず、国民の選択肢になりきれない野党にもその責任の一端はあると思います。

私は、今の政治に求められているのは「基本と正道」の再徹底だと考えています。上記のような問題の発生原因をしっかりと検証し、早期に再発防止策を講ずることです。今はまさに「落穂拾いの精神」で、1つひとつの検証を丁寧に進めていかなければなりません。私自身もその一員として精一杯汗をかく覚悟です。引続き、日立グループ議員団の皆さまをはじめ、組合員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

政治に対する国民の信頼を取り戻すために  
**「基本と正道」の再徹底を！**

市政だより

高齢者に優しいまちづくり



全国的に高齢化が進展する中、日立市においては、高齢化率が平成29年度に30%を超え、今後も増加する傾向にあることから、高齢者の孤立化や閉じこもり等を防止し、住み慣れた地域でいきいきと生活を送ることが出来るような施策が求められています。

このような背景から、日立市では、公共施設の空きスペースを活用し、高齢者の交流の場として、本年2月にカフェを開設しました。このカフェは、民間事業者に運営を委託し、軽食や飲み物を安価で提供するとともに、健康相談や高齢者支援制度の紹介

高齢者の交流の場と  
外出機会の  
創出に努める



などが行なわれており、本年度も新たにカフェを開設する計画となっています。

また、高齢者の外出する機会を創出することを目的に、平成28年度から実証事業として取組んできた路線バス運賃カードの割引販売は、買い物等で外出する意欲の向上が認められたため、本年度より本格的に取組んでいます。さらには、高齢者からの声として、タクシー運賃に対する助成の要望もあったことから、1回につき500円分の助成券を8枚まで交付するなど、新たな取組みも始めています。

民主クラブとしては、引続き、少子高齢社会への対応を図りながら、市民に優しいまちづくりに努めてまいります。

「第25回全国山城サミット安来大会」「第7回尼子一族全国大集会及び戦国尼子フェスティバル」開催 市政だより



今年9月に島根県安来市広瀬町において「第25回全国山城サミット安来大会」が開催されます。「全国山城サミット」は、全国の山城を有する自治体が情報交換等を通じて親睦と交流を深め、山城を活かした地域の活性化を図るために開催されています。今回の拠点となる月山富田城（がっさんとだじょう）は、戦国時代に山陰の覇者尼子氏が本拠を構え、難攻不落の要塞城として知られている名城で、2006年には「日本名城100選（65番）」にも選ばれています。また、5年に一度開催の「第7回尼子一族全国大集会及び戦国尼子フェスティバル」も同時開催さ



れ、地域資源を生かした観光振興として月山富田城跡を全国にPRし、周辺整備や既存施設も改修して特産品販売と飲食ブースの充実を図り、来客者の受け入れ態勢を整えるための予算も組まれました。

観光振興については、島根県内観光客の行動目的別でも歴史、文化が最も多いことから、今後の安来市にとって大きな収入につながる可能性を秘めており、宿泊施設などの充実とさらなる認知度向上、誘客推進に向けた取組みの重要性を提言していきたいと考えます。

国、県に先行したALT配置を実施

市政だより



日立市では、子どもたちがこれからの時代を生き抜く力を育てるため、ひたちらしい外国語教育を進めています。

主な施策としての英語体験活動推進事業は、ALT（外国語指導助手）による英語研修やイングリッシュキャンプを行なうなど、英語学習への興味・関心を喚起するとともに生きた英語を学ぶ取組みをしています。

中でも、他市に先駆けた日立市独自の外国語学習については、平成24年度より小中学校全校にALTを配置し、小学1年生から「英語に触れる・親しむ」学習を実施しています。

また、平成32年度から全面実施される新学習指導要領では、「聞く」「話す」を中心とした外国語学習が小学3年生から行なわれます。本年度は、新学習指導要領への円滑な移行のための時間確保が国から示されておりますが、日立市では小学校英語授業のすべてにこれまで以上のALTを配置し、質の高い英語教育の実現



表1 ALTを配置した授業の時間（新学習指導要領）

学年	実施期間	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
		昨年度	先行実施期間	先行実施期間	全面实施
小学校 3、4年	日立市	9時間	24時間	35時間	35時間
	茨城県	0	15時間	35時間	35時間
	国	0	15時間	15時間	35時間
小学校 5、6年	日立市	35時間	59時間	70時間	70時間
	茨城県	35時間	50時間	70時間	70時間
	国	35時間	50時間	50時間	70時間

を目的に、ALTを配置した授業を国や県が示す時間（表1）より先行して実施し、コミュニケーション図る基礎となる資質・能力の向上をめざしています。

民主クラブとしては、「ひたちらしさ」に満ちた外国語教育を通じて、世界の様々な文化について理解を深め、国際的視野をもって世界に羽ばたく子どもたちの育成に結びつくよう意見反映に努めてまいります。

市政だより 緊急治水計画の策定



「安心、安全に暮らせるひたちなか市」をめざす

ひたちなか市は地形的に平坦であり都市開発には最良な地域である反面、雨水が部分的に集中してしまう弱さもあります。これまでの市の治水事業は、宅地化の進展に伴う浸水被害を解消するため、平成9年に高場雨水1号幹線の整備に着手し、さらに平成11年に制定した水のマスタープランに基づき、2つの雨水幹線の整備を行ない、浸水被害が軽減する施策に取組んできました。

しかし、平成28年8月に幾つもの台風が接近し、特に8月23日の集中豪雨では、時間最大雨量38mm、総雨量141mmを記録するなど、これまでにない降雨により市内西部地域を中心に、床上・床下

浸水、道路冠水と大きな被害が発生しました。

今後もこのような大雨が予想されることから、床上・床下浸水被害が発生する恐れがある地区を重点的に解消するため、①浸水被害の解消を目的とする、②流末となる河川等の整備と整合を図る、③効率的で効果的な整備をめざす、ことを基本とした緊急治水計画を策定しました。

日新クラブは、この緊急治水計画をはじめ、防災・減災に関する諸施策に取組み、市民の皆様の日線にたつて「安心、安全に暮らせるひたちなか市」をめざしていきます。